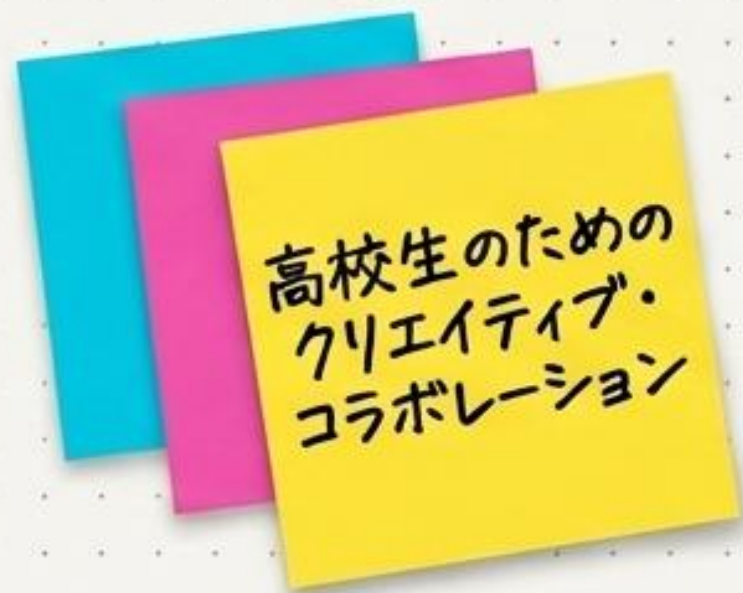




高校生のための
クリエイティブ・
コラボレーション

スタンフォード式・最強のグループ学習

「話し合い」を爆発的に面白くする8つのルールとKJ法

なぜ「グループ学習」をやるの？

企業が求める力、10年連続で第1位は
「コミュニケーション能力」

80.2%

第1位 コミュニケーション能力

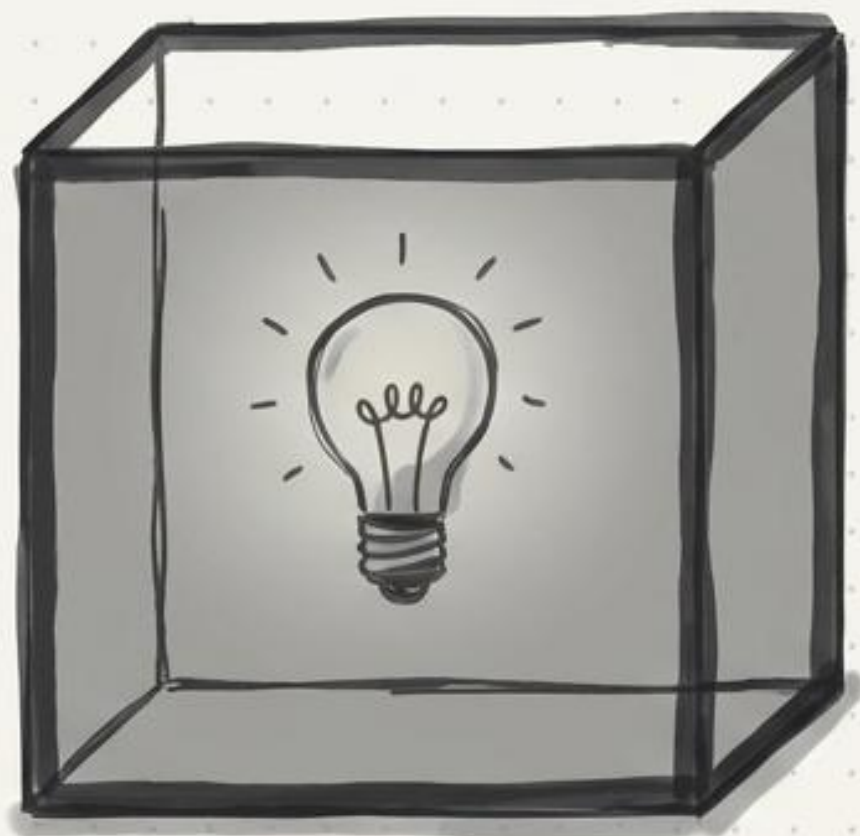
80.2%

第2位 主体性 (62.1%)

62.1%

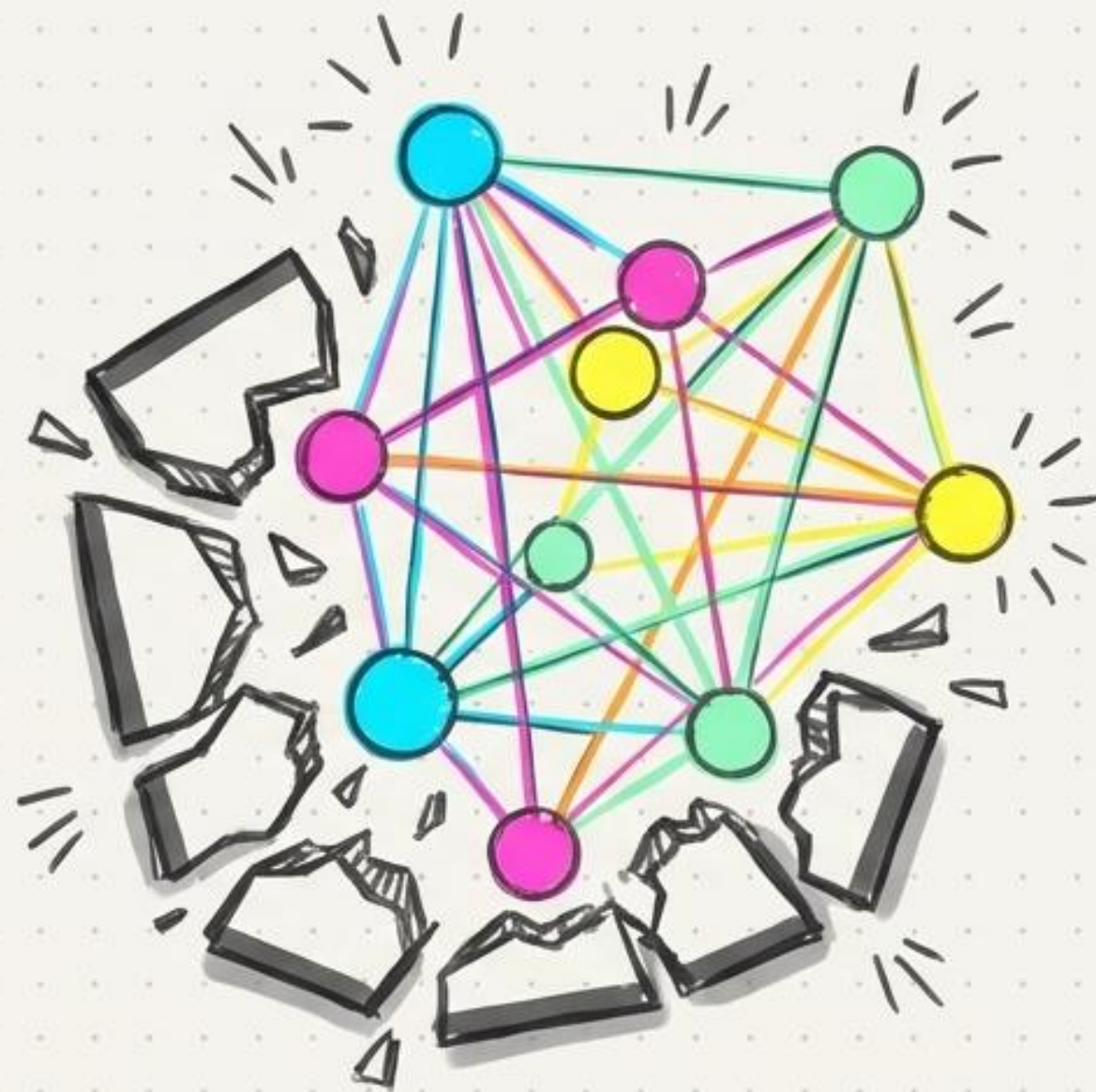
コミュニケーションとは
「仲良く雑談する」
ことじゃない。
多様な視点をつなぎ、
一人では思いつかない
新しいアイデアを
生み出す力のこと。

イノベーションの源泉：スタンフォード大学の教え



固定観念

素晴らしい発想は、
「固定観念をかき混ぜる」
ことから生まれる。



世界最高峰の大学が実践する、話し合いを活性化させる「8つのルール」とは？

スタンフォード大学 8つのルール



MINDSET (心構え)

心理的安全性を高め、発想を広げる



ACTION (行動)

議論を視覚化し、テンポを生み出す



MINDSET：質より量！心理的ハードルを下げる

① Defer Judgement (判断を遅らせる)

否定的なコメントは禁止。
のびのびと自由に！



② Go for volume (質より量)

10個より100個。良いアイデは
大量の束の中に眠っている。



③ Encourage Wild Ideas (突飛な考えを歓迎する)

ぶっ飛んだ発想こそが、
クリエイティブの原動力。



④ Build on the Ideas of others (他人のアイデアに乗っかる)

「それに加えて…」でOK。
競争ではなく共創。



ACTION：議論を迷子にさせないコミュニケーション

⑤ One Conversation at a time (一度に一人が話す)

全員で一つの発言にフォーカスする。



⑥ Headline your Idea (見出しをつけて話す)

長い演説はNG。アイデアは「一言」で次へボタンタッチ。



⑦ Stay on topic (テーマから逸れない)

盛り上がりすぎの雑談に注意。議題は常にホワイトボードに。



⑧ Be Visual (視覚化する)

全員が見える場所に付箋で書き出す。煮詰まった時のヒントになる。



ルールで出したアイデアを「KJ法」でまとめる

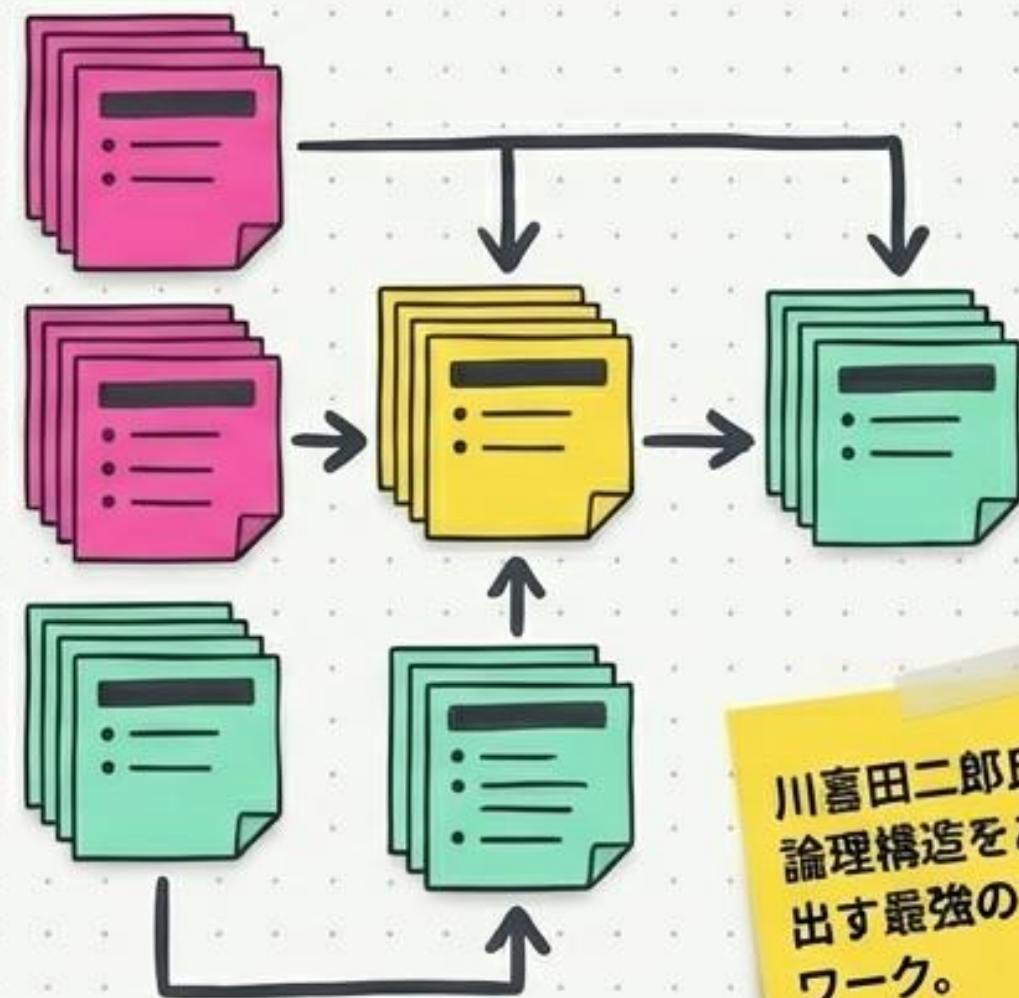
スタンフォードのルールで「発散（広げる）」させた後は、KJ法で「収束（まとめる）」させる。

発散（広げる） - スタンフォードのルール



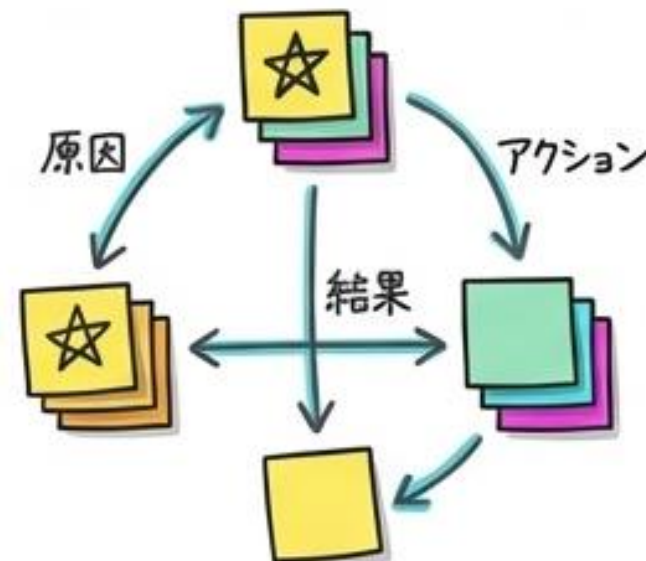
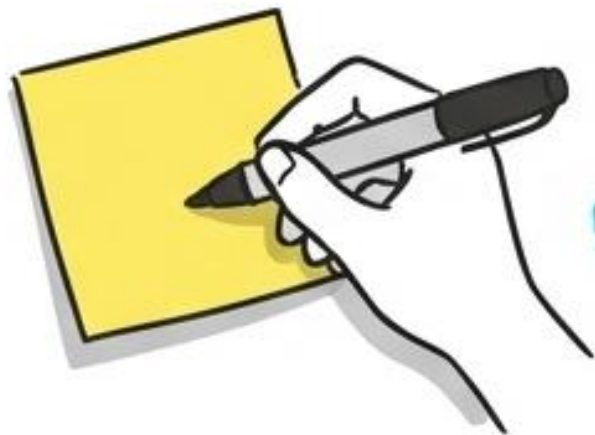
KJ法

収束（まとめる） - KJ法



川喜田二郎氏考案。
論理構造をあぶり
出す最強のフレーム
ワーク。

KJ法 4つのステップ



Step 1: 全て書き出す

1用紙に1アイデアを短文で。

Step 2: 広げて眺める

模造紙にばらばらに広げる。

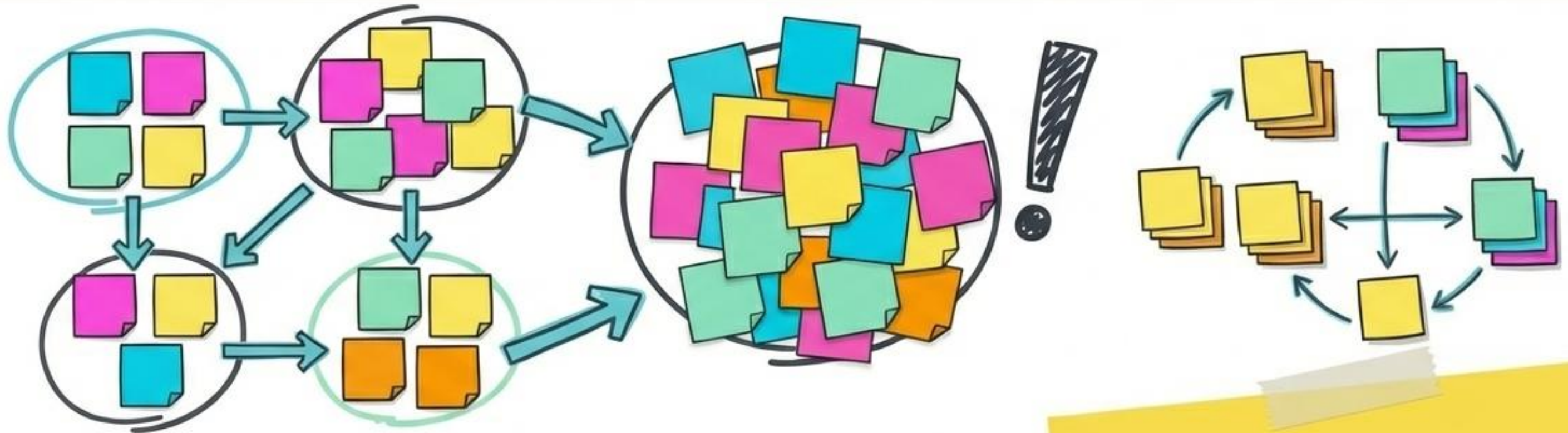
Step 3: グループ化

似たものを重ね、一番上に「代表」を乗せる。**一匹狼**も大事に！

Step 4: 空間配置と図解

関連性がわかるように配置し、記号や線でストーリーを作る。

さあ、探究活動をはじめよう



- ☑ 質より量！突飛なアイデアを歓迎しよう
- ☑ 相手を否定せず、アイデアに乗っかろう
- ☑ 全てを「視覚化（付箋）」して、KJ法で構造化しよう

コミュニケーション能力とは、
ただ話すことではなく、
新しい発想が生まれる
「場を作る力」のこと。